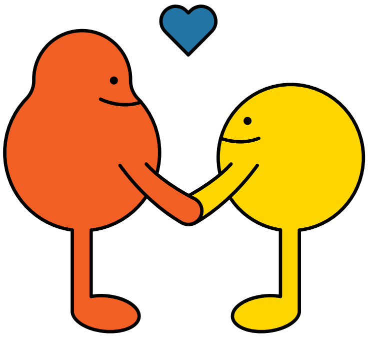
定員
50名

主催：居住支援法人レキオス

人生100年時代、地域とともに築く賃貸経営

あんしん賃貸経営に欠かせないのは、入居者が安心して暮らせる地域環境です。
人生100年時代、高齢化や単身化の進行に加え、沖縄では地価・物価の高騰や人手不足など経営課題が山積しています。さらに、空き家対策特別措置法改正、相続登記義務化、賃貸住宅管理業法や民法改正など、オーナーに直結する制度改定も相次ぎます。
本フォーラムでは、地域課題と制度変化を踏まえ、持続可能な賃貸経営のヒントと実践事例を共有し、皆さまと共にこれからの賃貸経営を考えます。



日時 2025年 8月 31日（日）
14:00～16:30 開場 13:30～

場所 **沖縄産業支援センター** 中ホール（312号室）
住所：沖縄県那覇市小禄１８３１－１

対象 賃貸オーナー、賃貸管理会社、居住支援・地域活動に興味のある方ならどなたでも

主催者挨拶

株式会社レキオス　代表取締役社長
宜保　文雄 氏

1986年の創業以来、「住みよい社会づくり」を理念に掲げ、地域の安心・安全を支える事業を展開。現在は株式会社レキオスを中心に、住環境、地域支援、通信、不動産など多角的な事業を行う8つのグループ企業を率いる。地域課題をビジネスの力で解決し、住まいに関わる多様なサービスを形にしてきた。沖縄の未来を見据え、持続可能で豊かな地域社会の実現に取り組んでいる。

講演①
高齢化社会と賃貸経営の未来

カセイ有限会社 代表取締役
宮城　裕 氏

家主業・不動産業を営む傍ら、県内最大規模の家主コミュニティ「沖縄大家塾」を主宰し、賃貸オーナー同士の学びと交流の場を提供。2018年からはレキオスセミナーのメイン講師として登壇し、賃貸経営・管理の実務知識をわかりやすく解説してきた。現場経験に基づく実践的なアドバイスには定評があり、近年は賃貸管理会社の人材育成や経営改善のコンサルティングにも活動領域を広げている。地域に根ざした視点で、持続可能な賃貸経営と健全な不動産市場づくりに貢献している。

講演②
地域福祉連携型の居住支援

司法書士／NPO法人やどかりプラス理事長
芝田　淳 氏

司法書士として法律・権利面に精通しつつ、2007年に鹿児島で「地域ふくし連帯保証」事業を創設。保証人不在で住まい確保が困難な人々を支援し、障がい者、高齢者、DV被害者、ホームレスなど幅広い層に対応。地域の見守りと連帯保証を組み合わせた独自の居住支援モデルを構築してきた。全国居住支援法人協議会の理事としてネットワーク構築や政策提言にも注力し、厚労省の検討会にも参画。地域とのつながりを重視し、孤立防止と安心できる住まいの実現を目指す。

お申込み
お問合せ

居住支援法人レキオス

お申込はコチラから➜

本プロジェクトは、「沖縄版 誰もが支え合い・働く社会の実現事業２（物価高騰及び子育て対応支援枠）」（労福協・NIAC・JSURP）に採択され、休眠預金等を活用して実施しています。

舞い上がれ社会を変えるみんなの力
休眠預金を活用した事業です